

アンケート調査結果報告（第2報）[問46. 自由欄]

～住民の皆さま方のご意見を掲載します！ 一読下さい～

第2回、第3回のワークショップに参加して頂き、皆様のご意見を反映させてください！

アンケート調査に綾野学区内の皆さまの思い・意見を書いて頂きました。

日頃思っておられる・考えておられることを、皆さんで情報共有して頂きたいと思います。アンケート調査・自由欄に書いて頂いた内容をほぼ全て掲載しました。これらを基にどう動くかは、綾野自治振興会全体、すなわち住んでいる我々全員の課題であります。

今後の自治振興会の活動に対する建設的なご意見をお願いすると共に、綾野自治振興会の事務局や部会などに加わって頂き、ご一緒に行動を起こして頂ければと思います。

*）各項目別に記載していますが、厳密な区分けはできない内容もあり混在していることをご了承ください。

1. 全体・まちづくり；

○綾野学区まちづくり、私達にはまだまだ何の事かわかってないのが現状じゃないでしょうか？現在住んでいる所もアパート・マンションが多く、住民一人一人が良く知らない。一戸建の者だけで区を運営するもその人達も区から脱退していくありさま、そんな状態での地域のまちづくり期待しています。

○さまざまな店や施設が整ってきている反面、田や緑が減ってきて自然が少なくなっているように思う。自然を増やしてほしい。子供の遊び場がもっとあればいいのに。

○今の綾野学区は人間の平等にかけている。声の大きい人が得しているとしか思えない。例えば「あやねっと」を毎月見っていますが、〇〇区〇〇町にごみ集積所の補助金として〇〇万円外灯補助金〇〇万円消防補助金〇〇万円支払いした。市民税を払っている自治会のないところは馬鹿を見て損をしているとしか思えない。南林口に来て・・年以上になるが当初と同じでなんら変わっていない。

○綾野学区まちづくりに活動いただいている方達に改めて敬意を表したいと思います。若い頃は活動の仲間で楽しく参加させて頂きましたが、高齢となり心も体も老化してきましたため、今は自分の体を健康に守る事が第一で寝たきり老人にならないように努力しているものです。御近所の方の支えを頂いて日々事なく過ごさせて頂いている事に感謝しております。一人暮らしですが、月1回や・・・の会でふれ合いの時間を持って頂いたり自分の趣味を持って仲間と楽しい時間を持ち心豊かな日々を過ごさせて頂いております。綾野学区の皆様のまちづくりに体ではお役に立てませんけれども、心の中では、活力、魅力ある街になってほしいと切に願っております。

○いきいき百歳体操に出ています。筋力の強化を目的とした運動を、地域の幅広い年齢層の方とともに、とりくめることが健康的に暮らせる鍵です。だらだらしない為にも生活リズムが正しくなるし、自分が参加して朝から身体を少しでも動かすことで血の流れがよくなり肩こりや腰痛も改善するので。そのような身体の苦痛のある人がいたら気軽に声をか

け、毎週水、金曜日中部コミュニティー、中央公民館で9:30~集合して体操をやっています。宜しければ参加してみませんか。と声かけをしています。色々な理由でこられない方もありますがこられる時だけ無理せず自由に参加できる事が一番だと思います。強制的な教室でないので参加しやすくとても有難いです。昨年ガソリンスタンドで爆発事故がありました。将来そのような人身事故につながる事のなきよう、防災、防犯などのパトロールの強化もして住みよい安心安全な街づくりを心がけてほしいと思います。

○街の中心部が昔と違ってすたれていって若い人が住みにくくなっていく様になると思うときびしいです。もう少し活を入れてほしいです。

○子供、老人も参加できる自然と人とのふれあい行事。

○高齢者に優しく青少年が地域に定着して仕事・生きがい等がみつけれられる夢と希望のもてる街作りをして下さい。

○時代とともに色々変化していくのはあたり前の事。昔からあるものを大切にしてほしい。商店街を使つての町おこし。水口祭り、曳山、おはやしを大切にしてほしい。曳山については、持っていない町はふれる機会が少なく残念。子供に水口囃子をさせたいと思うが方法がない。子供の行動範囲が広がってくるが道の横断など危険で安心できない。

甲賀警察や交番がもっと地域に密着していればと思う。

○1. 綾野学区は市の中心に位置し生活面で非常に便利で行政機関を初め、交通、衣食住何でも近い所にあるが、これから少子高齢化の時代に対応した車から鉄道、バス利用が多くなるが、JR琵琶湖線から草津線、草津駅から貴生川まで待ち時間本数が長い。少ない若者が非常に憂いでいる。若者人口が市から離れている。又大阪、京都から滋賀へうつる若い世代が天津、南草津、草津駅周辺が便利のため人気。甲賀市は不便との事。又若い世代が市の中心に住むような綾野学区と共に市も考慮してほしい。甲賀市の人口が市発足後伸びないのは鉄道が不便のためか。どこに原因があるのでしょうか。若い世代の転出多い。

2. 10代~20代+30代~40代+50~65代、65~75~85代(元気な人が多い)が何か交流ができる、若者と一緒に気軽に話合えるサロン等で甲賀市が発展。(綾野学区から活動)していくような体制が希望(身内の会だけでなく横のつながりの活性化を)。

3. 商店街が昼通ると全く活気がなく、人もあるいていない。ゴーストタウン化。昔のようにはいかないと思うが、(活性化徐々にする。)イベントがあり、楽しめるような街に目が行くようになるのが夢。

4. 外部からたくさんの観光客が訪れる町(一時的でなく、持続した。)が夢。住みよさを同時にアピールを。(若者(都市の)はよく甲賀市といえば忍者の昔有名な所の声が大です。)

○いろいろな事に挑戦する事はすばらしいです。が何か1、2つにしばって活動されてはいかがでしょうか?綾野地区に未永く住めるよう努力して行きます。

○幅広い層と誰もが参加でき、利用できる内容の事業を考慮願いたいと思います。誰か先頭に指導する立場の人が必要ですがどの様な事業や趣味等の会合でも参加する人は決まっており、初めて参加する人が参加しにくい。何か仲間意識の傾向が見られるのでどうしても参加しにくく長続きしないと思います。あまり地域で幅をきかせている人を指導者やトップにせず日頃目立たぬ人も自発的に参加できる体制作りが必要と思います。行政の押しつけとしわ寄せでは地域の発展は望めません。

○各地区における自治振興会のPRと綾野学区まちづくりの活動を総会や地区行事の際に活動内容を浸透させるようにする。

○南林口地域の自治会は説明会も一人の参加のようでしたので自治会の発足も今後もないと思います。紙の無駄にもなりますので配布等は必要ないと思います。私自身配布物には目を通しておりません。

○①地域の中心となる綾野小学校の校庭管理、清掃にも尽くすこと。校庭のネット近くには危険な物体（針金、金属類、ドラム缶半切りなど）がある。

②校庭内にある災害用備蓄倉庫は夜間照明があるか、土日休日時裏門の鍵は誰が保管しているか、倉庫と入口の間にブロック緑石と薄い溝があり、搬入搬出時は安全にできるか。危険。

③碧水城内表門内に広場がある。もっとイベント等で活用すべき。もったいない。美しい品格のある所だ。

④あやの地区観光ネット独自に展開するために、歴史ガイドのボランティアの養成が必要。将来独自に観光コースも形成できる。

⑤このアンケート盛り沢山で整理できますか。結果は必ず地域に返して下さい。

○水口町に住んで今まで何回かの会議に出席させていただきましたが感じたこと「たいした事ないなあ。馴れ合いで、ダラダラと例年通り」の結果。これでは夢も希望もありません。行って良かった、参加して良かったと思える様に。とこのアンケートも「アンケート調査もしているし云々」で終わるような気がします。何しろお役所仕事ですから。

○古い地域に住む人、新しく転入してきた人等新たな人をまとめて行くのは「綾野」という地域のみならず、難しい事だと思います。一人よがりにならない方向で皆が幸せに思える。そのためにはどうしたらよいか様々な方向から綾野を見つめ続けていかないとはいけません。都市からこの地に来て20年以上になりますがいまだ形にとらわれ、人の心の中を大切にしない所に抵抗を感じています。代償を求めない「思いやり」ある町づくりを求めます。

○綾野学区内の中心部の高齢化が進み空き家や空き地が気になります。整備すれば若い世代の人も住みやすくなり街の活性化にもつながるのでは？

○①綾野地域全体の人で楽しめるレクリエーション活動、祭り、催し物の開催一賑わいのある町作り。春祭りー桜まつり藤栄神社 夏祭りー盆踊り（時期は8月お盆でなくてよい）綾野小学校グラウンド 秋祭りー収穫祭・お城まつり 秋の綾野天満宮の祭礼に合わせた催し物秋の小学校合同の運動会 等

②あやの町作りのための人材要請。各区自治会の区長さんからの推薦者を出してもらい有志を募る。各区自治会の各委員さんに参画してもらう。

③ここ5、6年頃から言われる「無縁社会」化がすすんでいるように思う。当地でも「区・自治会に入りたくない」「組（隣組）づきあいもしたくない」「お葬式も家族葬で済ませる」といった風潮になっています。（地縁を避ける）少子高齢化も進んで自治会の出来たときは若い人が多かったのに、30年余り過ぎた今老年者一人世帯と言う家も増えてきました。みんなで協力して楽しい毎日を送れるまちづくりをしてほしいと思います。

○綾野学区内に住む家族同士の付き合いが薄れてきた。子どもの教育から老人の保護にいたるあらゆる家族同士の悩み事の解決までを区長と自治会と市長 etc が計り日本一の住み

よい明るい朗らかな町にしてほしい。その中で私も一環の担い手となれば幸いです。

○余りにも子供の数が少なく出来れば独身者（40歳以上）の数をへらすよう努力し、にぎやかな町を取り戻したいと思います。

○高齢化が進んでいるので、将来自分の親が、自分自身が安心して暮らせるように、自宅以外で暮らせるサービスを作りたいです。現在共働きがほとんどだと思うのですが、自宅での介護は難しいと思うからです。

○アンケートの意見は協議会の運営に生かされているのか。協議会の意見を聞きたい。何をやっていくのか？方向性を出してアンケートに問うことも必要と思う。何がしたいのですか？

○老齢のためいろいろな活動に参加できませんがきめられた事柄に関して出来るだけ協力していきたいと思います。

○落ち着いたよい街ですが、何かもりたりない 案内するからぜひうちの街に遊びに来てといえるものがない。ポツリポツリと点在しているが線になるものがほしい。核になるものがあって、その周辺を2～3時間程散策ができれば・・・たとえば大池寺を中心に周辺を整備して・・・

○旧町内、区内の老齢化、世帯の減少などで今までの枠組みでは運営が出来なくなってきました。（その兆候がぼちぼち表れてきています）将来のまちづくりの方向性を示す役割を自治振興会に期待します。

○人との関係が希薄になっている近年、子どもやお年寄りが安心して暮らせるまちになってほしいです。「近所づきあい」がわずらわしいものと思われないような良好な人間関係を築いていければ・・・と思います。

○この世の中お金がなければ何も買えないし何も食べられない。そこで、綾野学区で楽しいお金の使わないイベントを行って欲しいと思います。

○このアンケートの内容から「老人の町づくり」のような感じがする。趣味や勉強したいという人もいるでしょう。近江八幡市や東近江市などだいぶ前から男の料理教室や釣り仲間と自然探索や山城と歴史の勉強会等そのような機会なりイベントが開かれていた。甲賀市はそのような取り組みが遅れています。小さいころ（たとえば小学生、中学生時代の友人）からの仲間だけで集まっているからテーマが少なくつまらない集まりで終わっている。

○理想で言えば、れんげが咲き、菜の花が咲き、蝶や虫などが飛び回り楽しい里山のような場所が綾野学区にあれば子供達の豊かな心を育て人を思いやる人間になっていくと思う。ゲームばかりで豊かな心は育たない。野山を走りまわって楽しいひと時を過ごすその様な場所があれば最高だと思う。

○後継ぎがなく、高齢者のみで生活する家庭が増えています。その中で介護が必要な場合、社会活動に参加するにも時間的な余裕がありません。活動内容をうんとシンプルにして、少しの時間でも参加できるように工夫して活動の企画をしてほしいです。地区や町内の役員等の仕事についても誰もが取り組めるシンプルな内容にしてほしいです。

○小さな町でもこれから発展していく綾野の町づくり将来が楽しみです。

○小さな子を育てているお母さんが、ふらりと訪ねていける場所がもっとほしい。特に雨の日、冬や夏など、家以外の室内で子どもと過ごせる場所。近くに友人も両親もおらず、子どもと母親だけで家にいると息がつまりそうになることがある。支援センターなどもあ

るが月に一回程度、図書館では子どもがさわがないか気を遣う。外から移り住んで来る家族も多いようなので同じ悩みを持つお母さんはたくさんいると思います。

○孫が生まれるまでは老後の生活などの心配をしていましたが、生まれてきて私たちの老後よりもこれから育っていく子供たちが住みやすく、また、子育てしやすい水口にしていく事が将来の水口を継続的に発展し、また人口が増える事がよりよいまちづくりになるのではと考えが変わってきました。

○参加したくない者を無理に参加させないでほしい。

○綾野学区まちづくりに深く考えて頂きアンケートまでも頂いた事感謝いたしております。少し自分の考え・思っている事を・・・以前に昭和の時代とくらべると古いかも知れませんが人間関係が町内だけでなく以前の知人が全体的に希薄になってきているようで時々淋しさを感じます。見て見ぬふり、挨拶お互いに顔合わさなかったら良いのか、しない人が多くなったような気がします。若い人達が他県、他町村に行かれるのは色々と事情で仕方ないとおもいますが、もっとこの町内で生まれ暮らしてよかった。楽しい、明るいやさしい。若いも若きも思うような街、学区になれば素敵な事だと思います。自分の思ったことを書き失礼しました。

○自転車や歩いて買い物できる身近な商店があればうれしいです

○1. 出来る限り多くの住民の皆様が様々な活動に参画して、何らかの役目を果たしながら生き生きしている姿。

2. より多くの居場所づくり⇒住民がオープンに集まる場所

○区や自治会組織していない南林口や的場に組織化を促し本当の意味での綾野学区全体のまちづくりができることが希望です。碧水城のお堀が余りにも汚い。周回道だけで散歩したいと思えるようなお城にならないと。水口高校側の法面をきれいにすべきだし、城の中の大きな枝なども切りっぱなし状態で堀に住む魚や亀などもかわいそう。水がきれいで魚などのかくれる陰などもつくってやるべきだ。

○特にありませんが、役員さんの負担が大だと思います。軽減されることを望みます。

○大型スーパーの進出で地元商店街がさびれてきている。空き家が多くなってきており、防犯上も問題である、(若者流出のためか)。パチンコやのような遊び場でなく若者の魅力的な施設がほしい。体育館の新築や広いスポーツ施設もあったらよい、(サッカー場や野球場はあるが)。このアンケートの設問が多いので回答がたいへん。要約して重点化したほうがよいだろう。この要望したことのひとつでも実現することを期待したい。

○子育て世代としてもっと民間でもいいので子供をその日に預かってもらうことのできる所をつくってほしい。前もって予約というのは、よっぽど分かっている用事ならそれで予約できるが、急に用事とか、親、子供が急に病気をしたという時にみてもらえないと全く意味がないと思う。それから小学生はもっとみてもらえる所がないのでせめて3年生くらいまでの低学年までは預かってもらえる所とか学校でみてもらおうとか考えてほしいと思います。

○綾野学区はほかの学区と共に、水口町の中心的存在となって繁栄する地形にあると思われれます。従って、寄り合い世帯的な心情でなくて、水口町の歴史の上に立って、過去を知り、そして、その延長に発展的な水口の"心""物"の形を発展させていきたいものと考えます。

○災害に強いまちづくりを目指してもらいたい。子供達が遊べる場所を作ってもらいたい。住みよい場所!住んでよかったと思える街づくりをしてもらいたいし、皆で協力して街づくりをしていきたい。

○甲賀の水口がすごい、その中でも綾野学区は活気あると言われる町がいいと思う。それにはお年寄りが住みよいまちは何より大事な事と思いますが、若い人からの元気をもらってこそだと思います。若者が町へ出ていく中、二世帯で暮らしておられるかけがえない生活を大事に・・・思う事が必要では・・・。仲間に入りやすいイベント、声掛けなど大事かなと思います。将来の夢として甲賀をもっと広く他所にも知って頂き呼び込める何かがあればいいかな。気楽に参加、見学できる事。体を動かしたり、声を出したりはみんな好きかと思うのでヒップホップダンス、踊りの大会、カラオケ大会とか最低年1度位はどうですか。区から1組選ぶとか・・・働いている人も参加できるように、土日はどうでしょうか。

○世代を超えた活動をできる限り多く企画し、交流をすることでお互いを理解し合いながら生活できる環境が育っていくことが、住みよい街としての「綾野まちづくり」の基本になると思います。綾野学区に住んでよかった!と綾野に住んでいる人が誇る街になるように一人一人が考え、意見を交わし合って、いろんな人の考えた耳を傾けながら、綾野学区の将来を描いていくことが大切だと思います。各家が(個人)が幸せになることが地域の幸せにつながり地域の発展が町、県、国・・・世界へと広がっていくと確信しています。言うことは簡単ですが、大きな目標をしっかりと作りそれに向かって目の前の目標(目的)を堅実になしとげていくことが、住みよいすてきな街になると思います。温かい思いやりのあるまちづくりができるようにがんばりたいですね。

○地域住民が自分たちのまちに関心を持ち、大切にしたいと思える環境づくりが出来ればいい。子どもも高齢者も障がいのある人も入居(いりびと)も集いすごせる場があり会話ができるような町。お互い様の声掛け助け合いが出来る町。そのためにも関心を持つ人々が少し困っている人(高齢者でも障がいがある人でも一般の人でも)に対してちょっと手助けが出来る町。町の中央部であり行政等の拠点があり専門職がいるので住民と専門職がつながり様々な困りごとを住民が発見し、気軽に専門職につなげていける。反対に専門職に対するインフォーマルな働きかけ等がスムーズに行きかうことが出来るしくみができること。障がいのある人たちが地域のなかで他の住民と共に過ごせる場所があり、お互いに居心地の良いときを過ごせるような取り組みがすすむこと。

○綾野学区に転入してきて・・・年が経ちます。出身県の両親が残っているので・・・才代前半の私たち夫婦は・・・年のちに滋賀県を離れます。子どもたちは成長して滋賀を拠点に働いていますのでこちらに残ると思います。その子どもたちが綾野学区まちづくりに協力してってくれることを望みます。子どもたちにとっては綾野がふるさとだと思います。「ふるさと」がいつまでも元気な町でありますよう祈っています。

○地域の方々が安心して明るく元気な魅力的な町になっていてもらえることを願っております。これからますます高齢者が増えるなか福祉施設の増設とひとり暮らしの方が安心して暮らせるまちづくりの力を注いでいただくと有難いです。子どもたちにも毎日元気に遊んで暮らせる公園があったり、また社会の安全なまちづくりを希望します。よろしくお願いたします。

○一人ひとりが先ずは我が家の美化から心がけて将来は花であふれるような地域にしたいですね。理想ですが。以前は一人一種運動ってありましたね。特養施設は空き待ちが非常に多いと聞いていますので、耐震診断の後は早急にとりこんでほしいです。綾野学区は生活の場としては買い物や医療機関等、たいへん便利です。(交通の便は少々不便) 町並みも落ち着いていて高齢者から乳幼児まで住みやすさでは甲賀市一番だと思っていますけれど、どの区域や町内でも若い方が少なく就職や結婚等で町を離れて親と同居せず夫婦二人暮らし独居未婚などの人が多いように思います。そういう現状でいかに住人の人々に魅力ある若い人々にも高い関心と意識を持って取り組める自分たちのまちづくりってどんなことなのかって考えています。振興会を立ち上げ活動していただいている皆様ありがとうございます。

○子育て支援の充実

○旧町内の活動、隣近所で腹藏なく話ができる。自主的な隣組生活(よい意味で)

○学区外から引っ越してきました。ご近所との仲がよく助かっています。

○私は年配の方から料理など教えてもらえる交流の場がほしい。また、野菜作りも興味があるので、教えてもらえて交流できたらいいと思います。また、子どもは子どもらしく外で元気に遊びまわってほしい。例①子育て支援活動(子どもを持っているママの集合)+おばあちゃんの料理教室⇒一緒に食べる。例②育休中は保育園に入れなため、はたけ作業つきの託児があればいいな。(おじいちゃんおばあちゃんの家に行く感じ)例③「赤ちゃん先生」として老健・小学校などへの訪問。地域には元気な方、いろいろ出来る方たくさんいます。人の資源をもっともっと使ってほしい。

○住みやすさ日本一をめざし、災害が少ないところをアピールし、高齢者がますます増える中で若い人たちが家を建て住みたいなあと思うまちづくりに協力したいと思っています。

○綾野地域のことを「いろいろ考えていただきありがとうございます。私もお手伝いさせていたきたい気持ちはありますが私自身が障がいを持っており、家では孫守りと忙しいため参加できませんが、区のほうではできるだけ参加しております。今後とも綾野地区が住みやすい地域になりますようによろしくお願いします。私も参加できることがあれば参加させていただきたく思います。

○適度に発展した町(田舎)として、住みよい街になればと思います。

○歩きたくなるような町

○高齢化社会になり車が乗れなくなったら行動することも少なくなる。近所の人を助けたいけれど、仕事が忙しすぎて時間がとれない。家族や身内の事で手いっぱい。地域の為に動いてくれている人たちがいるから、私たちも安心して暮らせる時間ができたら私も手助けできる人になりたい。今はおんぶしていますが待っててね。住民が助け合っていける笑顔で暮らせる町にしたいです。

○アンケートに対して答えさせては頂きましたが、他県から引っ越してきてとてもすみやすい街だと感じております。このままでも充分かと・・・役員の方々ごころうさまです。そしてお世話になります。

○年齢を重ねる中で自由な時間が増えてくるのが人生での楽しみの一つではないかと思うが、逆に公の仕事ばかりがどんどん回ってきて若者は自由を主張して好きに生きていく時代のギャップなのか教育のギャップなのか、教育で道徳さえ教えないのに住みよい社会な

どありえない。物質ではなく精神社会の問題であると思う。

○活力のある綾野学区（子ども達にとっても高齢者にとっても） 子供達には交通ルール少年たちには夜中のバイク2人のり 音をやめて道には花いっぱい 城跡には多数の県外の人達が訪れる様な 商店には人があふれる様になってほしいです。

○各種成功体験等の講演、子供対象の職業説明会・相談会、区・自治会対抗駅伝大会（子ども～大人～男女）

○仕事をしている間は忙しく、介護にも手がかかるので地域になかなか貢献できないが、退職し介護も終えることができたときには地域の子供達の安全を守る為に通学路に立ったりしたいです。

○地域の皆さまがたに参加してもらい多くの考えを出してもらい、よりよい綾野学区になるよう綾野自治振興会事務局一同が努力していただくようお願い致します。

○綾野自治振興会が何をやっているのか知らない⇒何をやっているのか住人に伝わっていない⇒住人にはあまり感心のない活動をしている⇒住人に求められている活動をしていない⇒何のために活動しているかわかっていない⇒自治振興会必要？

○いつも綾野学区まちづくりにご尽力いただきましてありがとうございます。「あやねっと」を読ませて頂いたりして情報を得、家族に話したりしています。綾野学は範囲が広すぎて書かれていることも少し離れたところのことだったりしますとどうしても他人事のように思い、なかなか自分のものとしてとらえられません。綾野の中でも「〇〇区の活動」「〇〇からのたより」など知っていることが書いてあったり、知っている人が出ていればもっと興味も関心も持って読むと思います。防災に関しても範囲があまりにも広すぎてまず自分はどこの場所に行けばいいのか何をすればいいのか具体的によくわからないので、災害が起こってパニック状態になれば、もっとわからなくなりそうです。混乱状態のとき、頼りになる看板を集まる場所に立ててほしいです。避難所をしるした看板は見やすくわかりやすいものにして立てて下さりありがとうございます。次に欲しい看板は災害時どのようなすればよいか書いた看板です。例えば、家族との連絡方法はどのようにしましょう（例えば連絡メモを公民館に貼りましょうとか）給水車はこの場所に来る予定です・・・とか詳しいことが書いた看板があれば災害が起こる前に読んでおいて知る事ができるので便利だと思いますし、災害が起きてパニックになっても少しは落ち着くと思います。今回このようなアンケートを書く機会を与えて下さりありがとうございます。たくさんの方のいろんな意見を聞いて下さることを願っています。

○綾野学区に生まれてよかった。綾野学区で暮らせてよかった。綾野学区で終わってよかった。そう思って逝ける地域（故郷）であってほしい。

○青少年が生き生きと生活し自分の特性を発揮できる活力あふれるまちにしていきたい。町全体が明るい（街灯）道路にしてほしい。

○綾野学区そのものは商業施設もあり便利だが、住んでいる地の古くささにはあきれられる。残すべきことは残し、改善すべきことは改善し、若い人が本当に住みやすいと思える環境を整備すべきだ。古き良き時代のものと、新しく快適と思えるものの共存があってこそ将来も夢みられるのでは？

○街の将来を危惧する者の意見。最近旧水口の市街地は非常に衰退してきており、かつての街の賑わいは無くなり特に東は目を覆うばかりの惨状と呈している。政治が悪いのか行

政がわるいのか。はたまた地域住民が悪いのか。いずれにしても三者が一体となって奮起し、もう一度街づくりに努力しないと、亡国の街と化すると思う。その活性化の先導役となるのが自治振興会ではなからうか。私は自治振興会のリーダー（役員）に街づくりの基本的な哲学を尋ねたい。この哲学がなければ、街の再生はおぼつかないと思う。私は自治振興会がどのような目的で結成されたのか。ただ日常生活を楽しみ福祉と娯楽のみの機関ではないと思う。会の最終目標は「すべての市民が健康で文化的な生活できる活力ある街づくり」が基本理念ではないかと思えます。そこで私の街づくりに対する提言。旧水口町（西部地区）で街づくりに見識のある人材を結集し『街づくり活性化委員会』等作られて英知を集められては如何。※街の再生にあたってのシンポジュームの開催。鹿深ホール？

○65才以上の住民だけの世帯が増えてきていると思えます。今までできていたことが困難になり近所の方の迷惑になりはしないかと、非常に心配しています。今までの近所付き合いではすまない様なことになったらどうしたらいいのでしょうか。

○高齢者です。その時々家族を大切に。近所の方たちとも地域の方とも。いつもはバスですが、久々振りに雨上がりに南林口から西名阪方面に向けて徒歩右に用水路の水の音。足元にすみれがいっぱい。立ち止まって水の音を楽しんでいる時小学生（女子）からこんにちは！の挨拶。日常の生活からひとに対して希薄な心もなんだか心も体もホットな気分になりました！これからは私の方から声をかけようと思いましたね。ありがとう。

○地区内の組織率を上げる努力を続け、戸数を増やし全住民を巻き込んだ活動を目指すことにより予算の収支を倍増する活動が当面の最重要課題ではないでしょうか。少子高齢化の益々の進展に伴い現状の活動さえもジリ貧右下がりになるのは目に見えています。高齢者ばかりの活動に加えて経済的バックアップも期待できないのであればいくら立派なアンケート結果が出ようと机上の空論になるのではないのでしょうか。

○自分の子どもたちもそうであったかもしれないが中学生の交通ルールをもっと指導してほしい。道いっぱいになり自転車で走っている。学校で教えてほしい。

○若者が集う田舎にしたい（笑顔いっぱいの）

2. 防災・防犯・安心・環境・安全

○事故や凶悪事件なども少なく公共機関や買い物なども便利よくて住みやすい町だと思えます。通学路が危険に感じます。見直してもらっては？

○古い消火器の回収をして欲しい。防災の為新しい消火器の販売などして欲しい。

○子供が一生この地域で生きていきたい。と心より思う場所になる様な環境づくりが必要だと思えます。

○高齢化及び空き家が増えていく現状。まず空き家はどうなっていくのか？旧町並みに住んでいて将来町がどうなるのか？何か考えていく必要があると思えます。特に共同住宅等は建ててほしくはない！難しい問題です。私本人は先短いのでよいのですが、子ども達の事を思うと不安です。

○安心して毎日が過ごせる街を第一に希望します。住人の精神面での安定が必要だと思えます。具体的な施策としては街並みが美しく整備され安心して歩ける街造りから始まると思えます。

- 綾野地区町づくりの一環として美化運動奉仕作業（学校・ 保育園・公民館周辺 街路地等雑草助走樹木の剪定を地区お方々にいらいされることは出来ないでしょうか。高齢でも健康な方、また出来る方、夏期～秋期（じかんは2時間程度で月に2回程度）
- 町内で自主防災組織をつくって防災訓練を実施されている区がありますが、綾野自治振興会の事業として、被害を最小限にとどめるためにも日頃の避難訓練が大事であり、少なくとも年1回程度は各区長に呼びかけ積極的に実施するようにしてはどうか（希望）
- 逃げ遅れないかの確認、1人老人世帯の世話、対応策、けが人の運搬、消火器の使い方等。市民が安全、安心して暮らせる災害に強い町づくりに取り組んでいく事が大切であると考えます。
- 道路に駐車しないよう、道路は広く使用しよう
- 第1次避難所の存在を知らない人が多い。自治振興会の説明がされていない。自治振興会より行政に意見できるパイプがほしい
- 子どもが安全に学校まで通える道路づくりや安全パトロール等、防犯面を強化し、安心できるまちにしてほしいです。
- 防災組織の確立と住民への啓発
- 家族の安心・安全につながるまちづくり。
- 街灯が少なく安全面が不安の為、増設してほしい。通学路で信号無視（赤信号）する中学生がおり、交通事故を起こす危険がありますので甲賀市民の交通ルールの教育が必要かと思ひます。（大人の方もルール無視するのを見かけます）
- 中央公民館まわりの整備をお願いします。草が伸び放題。気の葉っぱが散り放題では困ります。
- 安心して子供を外で遊ばせられる環境づくり

3. 健康・福祉

- まちの中の甲賀病院に便利を感じていたのが山の方へ行き今まで自転車でも通院できていたお年寄りなどの事を考えるとバスがあるとはいえ、不便を覚えます。少し住民の無視した方向性のように思われます。夢や希望と言われても一人の意見でどうなるわけでもないの今のところ水口町も綾野学区も住みやすく不便も感じなく外来者の方にも誇れるまちだと思ひます。
- 甲賀市はもちろんの事綾野学区においても高齢化が進んでいます。病院や支援施設が金さえあればできる事ですが本当の意味での支援ができているのだろうか。一人で生活している方また介護のために苦しみ悩んでおられる方このような事を解決していくことこそ大切なことである。これは遠く先のことではなく、今、いや10年後には必要なことでありご近所の力が必要だと思ひます。プライバシーの保護も必要ですがご近所助け合いが必要になってくると思ひます。何をどうしたらいいかわかりませんが、何か方法があると思ひます。
- 一人住いの高齢者の住める家などを作って老後楽しく暮らせる所を施設してほしい。
- 地域で高齢者だけの世帯が多くなっています。出来ない家はだまってそのまま。健康な世帯だけで保たれています。先は心配。

4. 歴史・文化・スポーツ

○新しい住民も増えている中で地域の歴史や伝統等研修する機会があればよい。新しい住民の呼びかけ郷土史会と連携してはどうでしょうか。水口や甲賀市の芸術活動が遅れている。もっと人材を発掘して育てるべき。特に音楽活動については顕著であると思う。教育委員会の社会教育課で力を入れてほしい。あい甲賀や壁水ホールが貸館になっているように思う。公民館でも地域の施設として活動してほしい。

○東海道の宿場まちとしての景観がとても素敵だと思うので守って行って欲しい。古いものを生かしつつ若い世代の感性を生かしたまちづくりが出来ると良いと思います。曳山もお囃子も素晴らしいので継承して行って欲しいと思います。

○何となくだが、水口城跡の存在感がうすく感じる

○水口スポーツの森のような立派な施設もいいですが、子どもたちがいつでも自由に遊ぶことのできる広場がほしい

○私が担当してきた観光ボランティアガイドの立場から提言したいし、住民がもっと関心を持って欲しいことは、水口に住んで水口をあまり知らない方々が多い事でこの対処に力を入れて欲しいと思います。自分の住む町を熟知して初めて町を大切にしよう、町をよくしようとの意欲も昂揚するものと考えます。数年前ですが、岡山城とかかわりの深い県外の方ですが、水口へ毎年来て頂いておりまして、交わした対話の中で、水口小学校の生徒にあの山何と云う山と聞いたところ「しろやまや」なんて「しろやま」と言うのと再度聞いたがそれは知らんと答えだった。水口小学校の校歌にも歌われているのに知らないと大変淋しい思いが致しました。ガイドをする方々、他所から来る人だけでなく地元の方々にも水口の歴史を指導して欲しいと申されました。今後、自治振興会のクラブ活動で地域の歴史をみんなで勉強し東海道を歩く人々に誰でもが水口を案内できるようにまで地元水口を知ってほしい。子どもたちにも伝承して頂きたいものと考えます。

もう一点は東海道50番目の宿場町、県内で土山・水口・石部・草津・大津宿がありますが、水口宿以外はもう30回近くに及ぶ宿場まつりをされています。やはり町の活性化はイベントを開催することが重要です。町家がこのムードに関心を持って町の活性化につとめていくことを期待します。

○水口祭りの際、みこしのかつぎ手や曳山の引手等を募集の広告を見ますが、伝統行事を継承していく為には、参加し肌でその楽しさや意義を感じる事が大切ではないかと思えます。高校生以上の若者たちにその参加への啓発をされたら良いのではと考えます。暴走し秩序が乱れる等の心配よりも行事への参加を通し、ほめて育てや大人も共に楽しむ事で地域のよさを理解し、地元を愛する若者が増えるのではないかと近年の祭礼の様子を通し思う事です。(綾野学区内の町づくりの意見からは少しずれることにですが…)

○綾野自治振興会区域は「あいこうか市民ホール」をはじめ市立図書館、歴史民俗資料館、水口城資料館など多数の施設があり、いわゆる甲賀市の文化ゾーンを形成しています。また、大池寺や綾野天満宮など多くの観光施設にも恵まれています。このように甲賀市の中でもまさに中心地の自治振興会区内に居住している私たちは住み心地甲賀市一番の綾野自治振興会の達成にむけて住民の一人ひとりがそれぞれの立場でお互いに協力しあい、また、助け合って暮らしたいものだと思います。

○歴史文化的な要素がいっぱいある街だと思いますが街並として統一感があるとちょっと良くなると思います。

5. 市・行政への意見

○今のところ特に意見はありませんが、学区ではなく市がもっと大きな視点で考えて実施される方がよいのではないかと思います。

○長い間放置してある近新家具、滋賀銀行綾野支店横の道を早く通してほしい。住宅街通り抜け解消、通学路の安全のためにも良いと思われませんが…。用地以外に何か問題があるのでしょうか。

○水口へ転居して・・年になります。静かで落ち着いた住環境で済みやすさを感じています。地域の活動も活発で色々なサークルに参加して楽しんでいます。今一番の関心事は旧甲賀病院の跡地利用についてです。高齢者が今後急増していく中、施設等が不足している現状です。せっかく大きな建物があり、老朽化しているとはいえ、設備もそれなりにあるのではないかと思います。手直しや設備設置に費用はかかるとは思いますが、市に働きかけて高齢者、障害者などの介護施設にできないものか、と考えています。

○道路の整備をする事。甲賀病院を介護施設にリフォームしてはどうか。

○2年前の事故を忘れたかのように海外に原発を売ろうとしている。国の姿勢には何の反省も未来への責任も感じられません。福井に隣接した我々の生活の安全もただ見せかけの砂上の楼閣のようなものだと思っています。モニタリングポストを立ててすむ問題でもないのです。福島は日本の未来の姿なのです。

○行政に問う。住民サービスとは何か？対応が悪すぎる。今に合った条例に見直すべき。

○行政も真剣に取り組んでおられると思いますが、少子化対策が余り見えてこない。

各家庭にも事情はおありだと思いますが、老人の一人暮らしの家が徐々に増えつつあるように思います。若い人の働く場の提供（企業誘致）等

○甲賀病院の跡地を今後必要とされる高齢者むけの福祉施設としての活用に向けて、地域が積極的に意見と要望を市に提示して地域の高齢者が利用できるような活動をしていく事が求められると思う。それが若い人の負担を軽減して人口の流出をくい止め、安心して住める地域に発展していくと思う。その為の予算を組んで行くことが求められると思う。

○歩道の整備（中央公民館から平和堂に至る）道の整備（水口中学校から城南までの車の流れをスムーズにしてほしい。道流体を作る）小さい田んぼをしているので区画整備をしてほしい。

○交通機関の充実化、道路・環境整備

○甲賀病院の跡地について 1、児童公園にする 現在近くに神社横の水口公園があるがほとんど毎日老人会によるグラウンドゴルフ場と化している。これでは子どもたちの遊び場がなくて困っているのが現状。 2 観光バスの駐車場 観光地としての大きな駐車場がない。この地ならば大型バスの複数台駐車も可能で観光誘地にも一役買えるし、ふだんは遊園地と並行して利用できる。

○公共交通機関を充実させて都市圏への移動が便利な綾野学区

○通学や散歩（老人車での）のことを考え、速度30km/hを守っていただくには歩道を広

く車速抑える道路にしていただきたい。特に災害時には車を使わない非難方法も工夫したい。歩いて健康維持。

○少子化に「対応して10年20年の計 行政にも要望 かわいい赤ちゃんもうひとり運動

○県や市がしなければならないことを各自治振興会の自主的活動に振っている。市役所の手抜きにしかならない。本来は市が中心となって企画していくことばかり！！市の未来的展望が見えない。長年水口に住んでよかったと思えることが何もない。

○年々高齢化して、隣も空家になり人も少なくなっていく、これが年々増えていくと区が成り立っていかなくなると思いますので、若い人が他県にでない対策を考えないと今後心配です。

○泉地区のR1との交差点の整備 JAとのR307との交差点の道路整備 水口は道路の作り方が下手だ。一番に道路整備。

○大型商業施設の充実。交通ルールの遵守。道路の渋滞の緩和。公共交通網の充実・

○甲賀市情報基盤整備に30億～50億円もの税金を使うことは承認している市議会では住民のための自治は全く期待できなく失望だけ。(事業内容に価値が無い。)特定業者救済がねらい。コストメリットが無い。夢・希望はある。古城山・水口城・スポーツの森・野洲川などの各ゾーンを遊歩道自転車などでつなぎ、広域的健康文化公園を創造する。⇒効果市民がいつで豊かな気持ちで集える。少子高齢化社会の活力を生み出せる。医療費削減。

○なにより市民として誇れる。こういうビジョンを語る市長市議会に脱皮してほしいよ。

○自分の子どもたちもそうであったかもしれないが中学生の交通ルールをもっと指導してほしい。道いっぱいになり自転車で走っている。学校で教えてほしい。

○※綾野学区以外ですみません。

・舗道の整備(せまかったり段差があったり等)

・綾野学区だけではないのですが循環バスを利用しやすく。例えば目的地に行く場合、貴生川駅とかには行くにも時間がかかりすぎる。色々な場所を回るため？

・草津線の複線化をすすめてほしい

・児童たちの挨拶が少なくなった(おはよう！と声をかけても10人に1～2人位しか返ってこない)声をかけても何もなし？知らない人と話してはダメ！が浸透している？

6. その他

○核家族化が進んでいますが、昔の様に3世代とか同居により助け合いなどすべて体を通して学べると思います。アパート、マンションの建設を増やすより今ある家を生かして(大きな家に一人暮らしの人が多い)その中で暮らせたら……。皆が個人を尊重するあまりきままになっていることが悲しく思っています。(離婚。他人様に育ててもらう。保育、学童、それはそれで有難くよいことですが家族のつながりのある家庭で育つ子供があまりにも少ないように思います。

以上

